

露店・天皇・「天國の記録」

(1) センター裏のニヤハレの前の

十二月二十五日の朝、雨がらよ、とパウツ
いてるしたが、センター裏口には見れない
川さな露店が出てました。

ほんとは川さな店です。

店ともいえないような店です。

あんまり実用的な品物はなくて、ちよつと

した棚に置く飾り物なんかの、いったら悪い

けどそれと安っぽいやつばかりです。

売ってるのは青竹の商人ではなく、ハタラ

ズドへのりさんとのなかまと一目でわかる三

十すぎぐらゐの人でした。

ああ、この人は自分で買ひ集めた品物を売

ろうとしてるなーとすぐわかります。

よくいるではありませんか。

野に入つたドヤトホ、と泊りつづけて、自

分の部屋にいろいろ飾り物を並べてたのしん

でいる人が。

そういう、愛してた品物を売りにかかった

のは、この人なりに蓄えた年未年指アッパ

策なのでしょう。

売れるかな？ 売れたらいいのにー

そう思つてセンターへ入つて行つて、どう

せ仕事はないのですから、全港灣のピラッ大

隊城と越冬実行委のピラと巨もらい、親見

知りのなかまと立ち話して帰つてくると、川

さな店の前に人が集つてます。

オヤ、売れそうだなー

私も立ちどまりました。
でも、その人ばかりは品物を賣うのではな
くて、昭和のハジメの不景気について、いろ
いろと話し合っているのです。
なか一人、昭和ハジメの不景気を多岐に
におぼえてるといふオッチャンかいて、熱心
に思い出さしやべっているのです。

12) 天皇は不景気と戦争のシンボル

昭和元年の不景気というのは、昭和二年に
はじめられています。昭和元年は前の年の十二
月二十五日(二の日に大正天皇が死んだ)か
ら一週間で終って、その次の年です。

不景気は日本だけでなく世界中にひろがっ
て、昭和三、四、五年とつづき、六年になる
と滿洲事変という、日本の三十億戦争は
はじめられました。
国内の不景気を戦争でゴマカシて行く方向
に、日本が踏み出したわけです。
十二月二十五日の読者新聞へは画(一)には、

「オヤ、なんですかから。」

「オヤ、ハズレ一筆を知らぬい？」

「そうでした。これは戦中派のゴトバなので
した。ハズレ、このは、まさ全世界ですわ、そ
して一筆とは一つにすることです。」

「まっつうぬぬものどもをいれいれいれい
のと同じですよ。」

ヒトかく彼、ヒトヒト氏は、ヨーロッパや
アメリカへ行つて、千にはもともと平和が好
まされたてたことしやべつてますが、セツタ
イおれはウソ。

太平洋戦争もふくめれば二次世界大戦でえ
のはつよりト一ナメント方式の試合なんで、
日本が太平洋で勝ち、ドイツがヨーロッパで
勝ちという具合になつてたら、結局はまあ、
日本とドイツの決戦戦みだいな戦争が延々と
められることになつてしまつた。もちろん空
想のハナシですけれどね。

日本もドイツも、自分が世界一すべりた民
族だと信じこんでたんだから、世界一が二つ

「天皇の在位あるから50年目」という記事が
ありましたが、それによると、いまの天皇は
天皇の位についている期間の最長記録を毎日
更新して、もちろん昭和の年号も最長記
録だし、天皇自身の人三もみちは記録(一)か
にモフ一人、推古天皇だそうす。

つまり天皇レコードの三冠王ということ
でしょうか。

しかし、このことを別の面からいえば、い
まの天皇は、不景気と戦争の天皇だともなり
ます。何しろ、彼、ヒトヒト氏が天皇に
とすべ不景気はじまつて、不景気のうなか
にはじめた戦争を十五年もつづけたのですか
ら。

いま、戦争に負けてから三十年で、昭和の
五十年のほかでは平和時代のほうが長いとい
つ計算になります。もしも、もしも太平洋戦
争に日本が勝つていたら、文はよ連、文はド
イツといつように、相手を変えて戦争がす
とつづいていたにちがひありません。「ハズレ

はらんで仲よくするわけがない。

「セ、リーグ優勝チーム対リーグ優勝チ
ームが争つ日本シリーズのことを見えたらよ
くわかるはず。そういえば広島カープは可哀
想だ、たね。」

「いやねや、一体何の話をしたか、
いまの天皇が不景気と戦争の天皇への天
皇に似たようなものか、良縁にとつては、と
いうことで、そこへ話がいったのは、セニタ
の裏口の小さな店のまわり、昭和元年の
不景気バナシがさかんだ、たといふことから
でした。」

「意いであへ戻ることにします。」

不景気はトニ盛なき昭和六年二月に発行
された「天國の記録」という本があります。

書いたのは下村千秋という小説家です。

この本のなかには、新の浪者(一)といふ題の
小説がある。当時の東京深川、洲崎埋立地
にある、長崎竹宿油所(公立)のことを書いて

あります。

「浮浪者」という表現にはな。かかるところもあるでしょうが、少し紹介しますからまあ読んで下さい。

はじめの方に、こうかきとあります。

(3) 小説「天国の記録」のこと

一九三〇年へ昭和五年へ入って、都下の自由市州者は、その名目だけを残して完全に消滅した。即ち彼等はこれごとくあらゆる市州を奪われ、それの浮浪者群へ押し流されてしまふ。長からである。

自由市州者であつた時代には、彼等は生きることの幸を知らされていられただけで、そこには斗いがあつた。が、それの浮浪者となり果ててからは、生きることの意味さだけを昼夜の正別なく味あわされていゝ。そこにはモウ斗いはなくなつた。——彼等は、死のようなからだを引きずりながら、無意識のうちにもつぽやくのである。

下におかんとしなけいばならなから、だ。

別に説明はいらないでしよう。ここに書かれていますことは、昭和初年ではなくて昭和五十一年の、五十一年度の現実そのものである。市州宿泊所に泊つてゐる者の会話の部分も紹介して置きましょう。

「それ口やうと、ここにゐる人達は、何の商売をして食つてゐるのらう？」

「商売はいろいろあるあねとピンタは先輩口調で、つまり、拾いや、代貝や、よなげや、それから、くわや、鯉子、残飯や、便所掃除や、バツタや、おっかけ、もらいや、……」

「どのが一番いい商売だらうね」

「これか、ておめえ、どいつもこいつと……」と、ピンタはいいかけて、腹がけのどんぶりからぐしゃぐしゃになつた一枚のトリス、飯附りをつかみ出した。「こりやね、秀」

早くくたばりてえ」

こんな具合に書きはじめられた小説は、小説の形ではあるけれど、記録の性質として強いものである。次のところを読んで下さい。

この浅草町と田中町へ山谷のことです。の木賃には毎夜千人から、多い夜は二千人の市州者、私人、浮浪者が泊り込むのであつたが、一年ほど前から日に日にその数が減り、この春になつて更に目立って減少し、夏に入るとまたけ、そりといふなくなつてしまつた。あらゆる資本家の、緊縮と合理化の生んだゆゑの浮浪者群へたてき港と同じ時に、彼等の大部分を、彼等の唯一の安眠所である木賃宿からも追い出してしまつた。彼らは、木賃宿の宿料も、食うことに困るはならなかつたのである。しかもその食うことも満足に行かぬ、残飯をもらひ食ひして、夜は木賃宿の軒

秀のためは自井所長からもらつたもんだが、二川を見りや、山州州の収入が一目瞭然と……と青木の穴へ差した。

それは、浅草町無料宿泊所における浮浪者達の収入調査表であつた。

収入別	十日一日	二日	三日
無収入	二〇七人	七八人	六六人
10銭以下	三九人	七四人	七二人
20銭以下	一六人	一〇四人	一〇六人
30銭以下	七人	八人	二七人
40銭以下	六人	五人	三人
50銭以下	三人	四人	一人
60銭以下	一人	四人	二人
70銭以下	一人	二人	一人
80銭以下	一人	二人	二人
90銭以下	一人	一人	一人

この時代のカネの値打ちと、いまの値打ちとはどれくらいちがうか、オート「銭」といふカネがなくなつて、いまは「円」の時代にな

ってますが、そこいらはもりの本なり年長者にさくはりる。目分るたしかめて下さい。終りの方はいくらか小説らしくなつて、ハッピーエンドへ幸福な結末」というには少しちがいますが、明治宿泊所の者たちからピンハネしていった悪人、黒眼鏡、が、向をなくがスも吸いこんで死んでしまうようになつていきます。黒眼鏡は酔、ぼろ、てがス、ストーブの火をつけそこない、火のつかないがス吹き出てるストーブのそばで眠、てるのです。そこが終りですが、そのちよ、と前にはこんな文章があります。

十二日が来た、一九三〇年の最後の月が来た。不安と恐怖に落ちたこの日本の地工に、無数のルンやこもまき散らして、まるでダイヤモンドをばらまいたような状態のまま、河算取捨するこはなしに終ろうとする年未が来た。

とても表徴的です。まるで現在の力でのここのようです。

（紹介した小説のかなづかいには百いのであるらしい書き方に直してあります）

次号予定

持集テーマ「オカマ」
投稿歓迎、採否は編集委員会が行ないます。送り先は書表紙へ
締切 一月末日
発行予定 二月十日

実らなかつた一時間の説得

警察出てすぐ焼身

「がんばる」誓った老労働者

浪速区

「がんばるわ」と言いながら突

面で壁を出たあとのまじことだつた。磯崎さんは浪速区に「酒好きがたつて家族とも別れ、西成のあいりん地区で日雇い労働者をしてきたが不況で仕事がなく食費にも困っている」と話していた。

新南にみる最近の

釜ヶ崎(一)

二十日午後七時すぎ、大阪市浪速区東津守三丁目、大國神社の社務所裏の境内で、火が燃えあがったのを消防隊員に参加するため、社務所内いた同区大國町三丁目、本陣中二生労働運動会(以下中)学生四人がみつげ、バケツなどで消しとめたが、男の人が黒こげになつて死んでいた。

磯崎さんはこの日午後五時四十分ごろ、浪速区近くで商に停つているところを同署のパトカーに保護された。署内で「生きる楽しみがない。ガソリンをかぶって死ぬかと思う」と言い出したため職員が約一時間にわたって話し合い、元気づけた。磯崎さんは酔いもさ

「正月は刑務所で」と無賃乗車 不景気で仕事がない作業員

昭和50年(1975年)12月15日

【和歌山】「不況で仕事がない、年々厳しくない」と、大阪の男が刑務所入り志願、十四日午後、大阪市から和歌山市までタクシーに無賃乗車、和歌山西署に到着現行犯でつかまった。

天王寺駅前、客待ちしていた近鉄タクシー(同市天王寺区上本町)の中乗車増田明通(乗車)に「和歌山まで行ってくれ」と頼り込んだ。約八十分走り、同三時ごろ和歌山市内へ着くと「金は一銭もない。どうしてもしてくれ」といって料金を七十九百八十円を踏み倒し、増田運転手に同署へ

乗出された。井上は切腹、無銭飲食など前科十二回。今年七月、大阪刑務所を出たばかり。「大阪西成区などの刑務所泊所を転々としながら、土木作業員をしていたが、不景気で仕事も少なく、行き倒れになるより刑務所で正月を過ごす方がまし」と思ったといっていた。

トビタ東映

電64ノ・J・50001
入場料四〇〇円

12月24日—1月2日 女極道社長(梅宮辰夫・山城新伍) 女夜霧の訪問者(豊田隆子・森田健作) 女鬼の詩(桂福田治・片桐夕子) 3日—8日 女新・仁義(本木陣殺) 女本陣殺人事件(田村高広) 女陽のあたる坂道(三浦友和・植ふみ) 9日—14日 女神戸国際ギャンブ 女動脈列島 女友情 15日—20日 女強盗放火殺人囚 女七人の侍 22日—27日 女東鏡三億円事件時効成立 女金環蝕 女同胞

トビタシネマ

12月27日—1月2日 女フレランチ・コネクション(スヘジーン・ハックマン) ノフェルナント・レイ(女) アニマル・ラブ 女らせん階段(ヘジマクリン・ピセット) ノクリストファ・スラマー 1月3日—9日 女ゴッドファーザーパート2 女マンハッタ 女皆殺し作戦 女ゴールデンボーイ 10日—16日 女悪魔の登場 女ワイロ 女恐怖に襲われた街 17日—23日 女ゾロ 女タワーリンググイン 24日—30日 女フェルノ 女悪魔の性体実験 24日—30日 女吸血の群衆 女プラマガ

トビタ映劇

電64ノ・J・50004
入場料四〇〇円

12月27日—1月2日 女東京工マニ 女エル夫人(個人秘授) 女新末七人下宿 女犯された制服(奥の間崎こまゆ) 3日—8日 女新団地妻(天婦交換) 女セックス仕掛人 女濡れた女室 9日—14日 女発禁肉団 女毛相考入門 女色情液体考 15日—20日 女新妻地獄 21日—27日 女女子大生レポート 女パッパから攻めろ 21日—27日 女濡れた愛情 女ひらけキューリッパ 女浴室の注情(淫奴肌人妻艶情) 28日—31日 女痴漢女 女のそぎ 女盗妻夜這い 女変態告訴任女

TOBATA

12月27日—1月2日 女マッケンナ 3日—9日 女の黄金 女警備ギャンク戦略 3日—9日 女サハラエイパニック 女帰らざる河(地球の頂上の島) 10日—16日 女ザ・ヤクザ 女自熱 17日—23日 女グリーン・ホーネット 女ホットロックス 女ハンのカーボーイ 女の07黄金銃を持つ男 24日—30日 女大本命 女シンドバッド七回目の冒険 女ヘルハウス

正月も近いが。。。。

正月も近いが。。。、それがどうしたね。 アナタは景気がいいか。。。、それがどうしたね。 読者の皆さん越冬の準備はよろしいか。。。、それがどうしたね。 私は去年の暮れから一人の人の左ナガメテいた。その人は最初に見た時は、阿倍野駅のオー・銀行の前でダンボールにくるまって寝ていた。 その人は、よく相町商店街で見かけた。だいがいダンボール箱を巻いていた。時には早五時から五時半頃、どこからかリヤカーをくめんできて、皆が車をまわっているセンターの前を引いて歩いていったことであつた。

それがどうしたね。

別にどうもしてやらない。その人は今年も銀行の前で寝ていて、二人程人数が増えていたとしても。ただそれだけのことさ。 ところで、

正月も近いが、アナタは景気がいいか、読者の皆さん越冬の準備はよろしいか。

ケッ、何をジャリサだいな泣き、ごときをいつてやがるんだ。なんでえ、不況のやつや二つ、釜の飯とおテントウ様はどこにでもついでまわらあ、だめならシヤバにあらばするだけの話じゃわえか、何いってやがんでえ、とあへん付く。

イキ本タンカを斜めにきつて、舌カンをするのよ、どないなりますやらかとオロオロ舌カンをするのよ、同じこと。それがどうしたね。

いろはカルタ

正月だ、てら、ともメテタくはありま
せんが、や、ぼり何が気分のちがうとこ
ろも少しはあります。そこで心だんの号
のニューズ寸評代りにいろはカルタを作
ってみました。読者のみなさんめいめ
いの文句を作ってみて下さい。体を動か
すヒリウが空いて不経済ですからね、着
えるだけの絆がなオアソビと。
(T6)

い 一年間いれこたがった
ろ 論より証拠にアオカン紙きだ
は 飯場も減、E 現金も減、た
に 肉マニもきつてる畜生商
ほ 出したくても女がいはい
へ 渡世とはこれで十三冊め
と 血の安さ 命の安さ
ち 理想の悪人 夢を抱こうか
り スードは女 スードルはライオン
ぬ ルーツ監督カールの悪人
る をんなど昔は書きました
も 私はアニコ あの夜はいいコ
ゆ 帰る故郷があるならよかろ
か 寄世場の元組は 長谷川、短平、
た 田中両宗母やヒヤ制、E
れ ヌツゴトと張り切れる仕事はないか
そ それでも金は好きは場所

つ 鶴一は炭火焼きホルモニ
ね 寝言も出ない焚火でウトウト
な 何年になるか指折る釜へきて
ら ラーメンが年越ひそばになる丹世
む 昔のこじだよ万博景気
う 恨みは素し 面成暑
る 井戸のぬ 居ますのゑ 忘れかけた字
の ノーノーノー 全部ノ一ですよやけ、ハ
お おかまはおれよりタクマニイのばかり
く 糞が出ないよ 食いはいからだよ
や ヤマも冬だと山谷の便り
ま またも正月 心が寒い
け 尊親行は三億円犯人に負けた
ふ 太又奴だよ X X O O は (あめいりる思いうやん)
こ 、紅白ともだんだん倦きてきた
え 映画みようか 一杯やろか
て 手配師もやることなしの大不況
あ アスレばかりで印刷が貼れない

さ 三角公園も風強し
さ 機動隊はスは今北詰印北に前駐
ゆ 湯はあ、たまるかハラも空く
め ぬし代賭けて 大穴当てた
み 貝なくとも若本銀者はブルノガさらい
し 筒屋にいきたく 夕ネはなし
魚 越冬公園すぐ使れせう
み 火を燃やせ 焚火の火 及連の火
も モ干食って 思ひ出す 子成のころ
せ せんまりは栄登のいし時だけにしよう
す ストやって ポーラスもら、そ 手取
や っ て
ん ン？ それ日誰？ いし御身分何